

科目名 文学 時間割表記名 文学		配当時期 1 年次 前期 単位数 1 単位 時間数 30 時間 (15 回)	講義担当者 小笠原 淳
事前学習内容 事前に作品等を通読し、習得していない漢字の読みや言葉の意味を調べ、内容を要約するなど基礎的な準備をしておくこと。			
授業目標 1. 本講義では主に、傷を負った人間が描かれた物語を読み進め、人間の恢復する力について考える。 2. 文学作品を通して、人間の生命の尊厳や愛の力、人間に寄り添う思いやりなどの感情について考え、理解を深める。 2. 読解力と表現力、論理的な理解力を培い、小論文で活用できる文章スキルを高める。			
DPとの関連 DP6. 専門職業人として責任を自覚し、広い視野にたって物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	導入——授業の進め方、文学について	講義	
2	魯迅「故郷」の解説	講義	
3	魯迅「故郷」を読む	講義	
4	ケン・リュウ「紙の動物園」を読む 1	講義	
5	ケン・リュウ「紙の動物園」を読む 2	講義	
6	テネシー・ウィリアムズ「ガラスの動物園」との比較検討 グループディスカッションと発表 ① (表現力とコミュニケーション力を育てる) 授業内レポートの作成と指導(文章力をつける)	講義・演習	レポート提出①
7	レイモンド・カーヴァー「ささやかだけれど、役にたつこと」(村上春樹訳)を読む 1	講義	
8	レイモンド・カーヴァー「ささやかだけれど、役にたつこと」(村上春樹訳)を読む 2	講義	
9	グループディスカッションと発表 ②	講義・演習	
10	木藤 亜也『1 リットルの涙』を読む 1	講義	
11	木藤 亜也『1 リットルの涙』を読む 2	講義	レポート提出②
12	木藤 亜也『1 リットルの涙』のグループディスカッション	講義・演習	
13	川嶋みどり『看護の力』を読む 1	講義	
14	川嶋みどり『看護の力』を読む 2 グループディスカッションと発表 ③	講義・演習	
15	まとめ(45分) 筆記試験(小論文 45分)	講義・筆記試験	
受講上の注意 1. 授業で取り上げる作品は、受講生の習熟度によって一部変更することがある。 2. 筆記試験(40%)、レポート(40%)、平常点(20%)により評価する。 3. 授業ではディスカッションで発言するなど、積極的な授業参加を求める。 4. 携帯電話は音の出ない状態にして、カバン等の中にしまっておくこと。			評価方法 筆記試験 レポート 授業参加

使用するテキスト : 随時プリントを配布する。一部はデジタル資料として配布する。

参考文献 : 適宜必要に応じて、参考資料を用意する